

令和6年6月定例教育委員会会議録

1. 日時

令和6年6月18日（火曜日）

午後1時54分開会、午後2時29分閉会

2. 場所

条里南庁舎会議室

3. 出席教育委員

佐々木 雅子

中村 千寿子

加賀谷 長吉

二階堂 まもる 衛

4. 出席者

教育長 伊藤 孝俊

教育総務部長 佐藤 耕樹

教育指導部長 岡固 敦

教育総務部次長 近江 秀和

生涯学習課長 木村 智子

生涯学習課主幹 木村 雅美

スポーツ振興課長 進藤 ^{ともりの} 倫啓

文化財保護課長 信太 正樹

文化財保護課主幹 石田 正明

図書館課長 高橋 秀明

教育指導課長 赤川 美和子

学校教育課長 佐藤 ^{たかのり} 隆徳

学校給食課長 遠藤 ^{よしひと} 督士

5. 会議書記

教育総務課課長代理 ^{おだしま} 小田嶋 あけみ

教育総務課参事 富山 直美

6. 会議要旨

●伊藤教育長

皆さんお揃いですので、ただ今より令和6年6月定例教育委員会を開催いたします。会議録署名委員は、2番、中村委員と3番、加賀谷委員にお願いします。参加はお集まりの部長、次長、課長、主幹。

書記は教育総務課担当にお願いします。それでは、次第の 3 の教育長報告に入ります。5 月 22 日から 6 月 17 日までの主な参加行事等についてご報告いたします。5 月 22 日、校長会の定例会がございました。同日午後より定例教育委員会があり、翌 23 日、第 1 回県南教育長会議がございました。新年度、各教育委員会でどんな事業を展開するか等々についての情報交換会ということで開催されました。27 日から市議会 6 月定例会が始まりました。28 日ではありますが、公益財団法人日本公衆電話会秋田支部様より子ども手帳を寄贈いただきました。また横手市教育推進委員会研究主任部会が行われまして、これからの横手市の研究テーマについて、お話をさせていただいております。29 日、定例記者会見の後、秋田市役所において、秋田県都市教育長協議会の総会、また市町村教育委員会連合会の定期総会に出席をいたしました。30 日、市議会 6 月定例会における教育委員会の一般質問答弁原稿検討会、同日、租税教育推進協議会定期総会が開催されました。31 日、市議会 6 月定例会における市の一般質問答弁原稿検討会が行われました。6 月 3 日から 4 日まで、市議会 6 月定例会の一般質問が行われました。6 日には、生涯学習奨励員協議会総会、第 56 回横手市小学校陸上競技大会に参加をしております。7 日には、小中学校の教頭会全体研修会でご挨拶をさせていただきました。10 日、10 月に行われる「横手駅東口まつり 2024」実行委員会

に参加をいたしました。12日、横手わか杉カップの実行委員会、13日には、市議会6月定例会の本会議が行われまして、この日をもって閉会をいたしました。15日から16日にかけて、横手市中学校総合体育大会が行われました。実は、15日は、大変高温となる天気予報が出ておりましたので、前々日の木曜日、13日の午後に市議会6月定例会終了後ですが、校長の代表や中学校体育連盟の会長等とお会いをして、熱中症対策のための打ち合わせをしました。その結果、今回の総体は開始時間を競技によっては早めたり、競技間の指定時間のインターバルを長くしたり等々、競技によって対策を講じたところであります。そのために、スクールバスの運行時間が大幅に変更になりまして、学校教育課のほうでは丁寧に対応していただき、大きな事故もなく無事に大会を終えることができました。ただいまの報告につきまして、何かご質問等がございましたらお願いします。

【なし】

●伊藤教育長

ないようですので、4の議事に入ります。日程第1、議案第26号、横手市学校給食センター設置条例施行規則の一部を改正する規則についてを議題といたします。説明をお願いします。

●学校給食課長

【資料に基づき説明】

●伊藤教育長

ただいまの説明につきまして、何かご質問ございましたらお願いいたします。

●中村委員

これは、今後もずっと続いていくということでしょうか。

●学校給食課長

この事業につきましては、今後も続いていくということでございます。

●伊藤教育長

ほかにごございませんか。

【なし】

●伊藤教育長

ないようですので、日程第1、議案第26号、横手市学校給食センター設置条例施行規則の一部を改正する規則について、ご承認いただけますでしょうか。

【異議なし】

●伊藤教育長

ご異議ないようですので、本件を承認とさせていただきます。次に、日程第2、議案第27号、横手市指定有形文化財の指定についてを議題といたします。説明をお願いします。

●文化財保護課長

【資料に基づき説明】

●伊藤教育長

ただいまの説明につきまして、ご質問等ございましたらお願いいたします。

●加賀谷委員

経筒の中身には、断片も何もなかったのでしょうか。

●文化財保護課長

明治22年に発見された際は、土のようなものが入っていたという記録が残っておりますが、おそらく腐ってしまって紙としては残ってなかったようです。

●加賀谷委員

例えば木片とか何か、そういうものは。

●文化財保護課長

木片等については、記録には載っておりませんでした。

●伊藤教育長

ほかにございせんか。

【なし】

●伊藤教育長

ないようですので、日程第2、議案第27号、横手市指定有形文化

財の指定について、ご承認いただけますでしょうか。

【異議なし】

●伊藤教育長

ご異議ないようですので、日程第2、議案第27号を承認とさせていただきます。次に、5、その他に移ります。(1)各課等事業報告をお願いします。

●各課長等

【資料に基づき説明】

●伊藤教育長

各課より報告がありました。何かご質問やご意見ありましたらお願いいたします。

●加賀谷委員

文化財にお尋ねします。金沢城の城と書いたものはあまり見かけない。金沢柵のほうが目にしているようなので、城に移った経緯を教えてください。

●文化財保護課長

地元の方はずっと金沢柵ということで、平安時代末の後三年合戦の戦場として皆さん認識をして、そのようにいろんな印刷物などに書かれておりましたけれども、実際は室町時代から戦国時代にかけて城としても使われていたことが当時の記録にも残っています。今

の見える形としては、室町から戦国時代、安土桃山時代にかけて造られた形を、我々が今見ているということになります。これまで公式見解としては、後三年合戦の金沢柵の調査ということですずっとやってきたんですけども、その過程で中世のお城としてのいろんな堀ですとか、平たくした所ですとか、あるいは土器、陶器、輸入陶磁器ですとか、そういったものがたくさん確認されております。そういったところを改めて評価してまとめようということで今現在進めているところですので、金沢柵の推定地でもありますし、お城でもあるというふうに認識していただければいいのかなと思います。

●二階堂委員

何の機会にそう入れ替わったのかということをおっしゃりたいんですかね。

●加賀谷委員

そういうことも含めて、要するに、城という文字を使い出したきっかけというか。

●文化財保護課長

実は登録されている遺跡の名称としては、昭和の中頃からずっと金沢城ということで遺跡の登録はされております。というのは、やはり今見える形が中世の人たちが作った形だからということになります。あと、同じ場所に二つの時代のものが重なっているということは、

ずっと認識されていた訳ですけれども、このたび金沢城跡の名前を出しているのは、中世の部分の城としての使われ方を改めて確認をし、研究者の方に評価していただいて、報告書にまとめようということで今動いています。今年度やろうとしていることは、中世の時代の城としてのあの場所を評価するということの報告をするということで、先ほど金沢城という言葉を使わせていただきました。外部に説明するときも、あの場所は金沢柵の推定地であるけれど、中世で使われていた城でもあるということは、これまでも言ってきており、中世の話をするときは、金沢城という言葉の方を使い、平安時代の話をするときは金沢柵の推定地であるという話をしております。金沢城で統一するつもりは我々としてもありません。その時代を評価するとき、その時代の城とか、あるいは柵という名前を使う。そういったスタンスでおります。

●加賀谷委員

そうすれば金沢そのものの後半部分が城という、要するに安倍氏のあの時代は前半部分に当たる柵と解釈していいんでしょうかね。

●文化財保護課長

柵という表現が平安時代に使われる言葉。城という言葉は、なくはないんですけれども、あまり使われる言葉ではなくて、東北地方で造られていた、地域の豪族みたいな人たちの造ってきた砦的なものは

柵という表現を使ってきました。ただその柵という表現は、鎌倉時代以降は使われなくなります。それ以降は、主に^{たて}館という表現になります。この地域も^{たて}館という表現が一般的なんですけれども、この地域で中世の記録というのはあまり残っておりません。小野寺氏が滅ぼされたせいもあるんですけれども、どちらかというところ、この地域の過去のことを調べるためには、江戸時代の文献を探るしかないんですが、江戸時代の文献には割と金沢城、城という言葉が出てきます。それで城という言葉を使っているということでございます。

●加賀谷委員

ということは、今後は城。その時代背景も当然加味するんでしょうけれども、城を主に使っていくということでしょうか。

●文化財保護課長

その時代を評価するときに、その時代に合った言葉を使うということですので、戦国時代の金沢の話をするときは金沢城という言葉を使いますし、平安時代の話をするときは金沢柵という言葉を使います。そういうふうに使分けをしていきます。

●加賀谷委員

ちょっとくぼみになった所、みんな空堀だとか何とかってよく言ってるけども、ちょっとそうかなと思いつつも見てるんだけど、やっぱりそういう評価なもんですかね。

●文化財保護課長

昨年から今年の春にかけて、東京にある江戸東京博物館の学芸員さんで、今、日本でお城について一番詳しい齋藤慎一さんという方に金沢城を通算 6 日間ぐらいずっと調査してもらいました。これまで空堀の跡だと言われる所が、実は 10 か所以上あり、そこを見ていただいたんですが、その先生の評価としては、戦国時代から安土桃山時代に造られたものであろうというような評価でした。その前の段階の金沢柵の段階で、もしかしたら空堀があったかもしれないんですけども、それをもしかしたら拡大して新しいものを造ったかもしませんし、堀だけ見て年代を当てるのは非常に難しいので、先生も断言はしなかったんですが、構造全体から見て、おそらく戦国から安土桃山時代の構造だろうという評価をいただいております。もし金沢柵の時代のものであったとしても、後の時代に大規模な大工事が行われておりますので、戦国時代ですね、ですので削られてしまったり、埋められてしまったりしている可能性が高いのではないかなと評価していただいております。

●伊藤教育長

他にございませんか。

【なし】

●加賀谷委員

もう1点いいですか。教育指導課に。記載事項と全く関係ないんですけれども、今、登下校のヘルメット着用をすごく励行して、ちゃんとやっているなどは思うんですけれども、放課後とか、休みの日とか、ヘルメットを被っているのをあまり見かけない。ノーヘルが多いんじゃないのかな。そういう気のせいなんですけれども、何も意味ないんじゃないかなという気はしているんです。そこら辺はどうでしょうか。

●教育指導課長

大変よく見ていただきまして、ありがとうございます。学校では、何のためにヘルメットが必要なのかというところについて、この後も継続して注意喚起を図ってまいりたいと思います。地域からは、暑くなってくると、逆にヘルメットを被ることの熱中症の心配などのご意見をいただいたり、また、中にはヘルメットを正しく被っていない生徒がいて心配だというような様々なご意見をいただいております。学校では継続して、子どもたちの自分の命は自分で守るという指導を踏まえながら、注意喚起を行ってまいりたいと思いますので、この後もどうぞよろしく願いいたします。

●伊藤教育長

ほかにございませつか。

【なし】

●伊藤教育長

ないようですので、(2) その他に入ります。何かありましたらお願いいたします。

【なし】

●伊藤教育長

ないようですので、これで6月の定例教育委員会を終了いたします。お疲れさまでした。

会議の顛末を記録し、その正当なることを記するため署名する。

令和6年7月26日

教育委員 加賀谷 長吉

教育委員 中村 千寿子